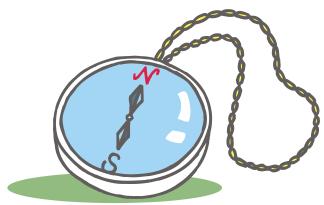


羅 針 舶

第 39 号

令和3年(2021年)3月15日(月)



◆ 「ファーストペンギン・スピリット」

先週末の3月12日(金)に挙行した本校の卒業証書授与式で、第74期生の皆さんに式辞を通じて贈った言葉が、「ファーストペンギン・スピリット」です。随分前のNHK朝の連続ドラマ「あさが来た」でも話題となり、とりあげられた言葉でもあります。皆さんもよく知っている通り、南極の氷の上で暮らしているかわいらしいペンギンですが、ペンギンはどこかに移動するとき、まず最初に群れの中の一羽が動き出して、その後に残りの群れが従って動き出すという習性があるそうです。南極に暮らすペンギンたちは、海に飛び込んで食材となる魚を獲る必要があります。ところが、海にはシャチやアザラシ、オットセイなどの肉食獣がペンギンをねらって水の中で待ち受けている危険性があります。ペンギンはいつも氷の上で右往左往しています。そんなペンギンの中で、「我に続け!」とばかりに飛び込むペンギンがいます。それが、「ファーストペンギン」です。アメリカでは、このように勇気を持って未知の世界や新たなる場所へと飛び込んでいくことを「ファーストペンギン・スピリット」と言います。この最初に飛び込むペンギンは、群れのリーダーではなく、普通のペンギンで、そして、毎回違うペンギンが最初に飛び込んでいくそうです。このことは、私たち人間にも相通じるところがあるのではないでしょうか。何か新しいことにチャレンジするときは、「ファーストペンギン」のように、「行くぞ!」「やるぞ!」といった決意が大事であるということです。自信がなかったら発言しなかったり、行動しなかったりする人はたくさんいると思います。怖がってばかりいて、何も新しいことにチャレンジしなければ、進歩することは永遠にありません。自信というものは、物事を成し遂げた結果として、チャレンジした結果として、ついてくるものだと思います。あなたたち、1年生、2年生の皆さんが、進級するまでの時間も残りわずかとなってきています。いざ卒業を前にして、自分の進路と向き合う場面で、必ず「あなたの将来の夢は何ですか?」と尋ねられるときがやってきます。将来の夢を明確に持っている人は、その夢を達成するために惜しみなく努力することができます。「夢」を持つということは、自分自身の進路を切り拓くモチベーションやエネルギーとなり、行動に移す原動力となっていきます。しかし、中学生の今の時点で、自分の持つ「夢」の実現に向けて具体的な努力をしている人は少ないかもしれません。皆さんの周りにいる大人の人たちの中で、中学生のときに夢見た職業に就いている人も、そう多くはないと思います。だからといって、今将来の夢が決まっていないとしても、何も焦る必要はありません。ただその一方で「夢がないから、勉強する気にならない」と自分が勉強しないことへの言い訳にするのも間違っています。なぜ、明確な夢が決まっていないのに勉強をする必要があるのか?それは、夢を見つけたときの自分に、その夢の実現に向けた挑戦する可能性を残しておくためです。夢が決まっていなくても、目の前の勉強に一生懸命に取り組む。「夢の種」を蒔いておくということです。「ファーストペンギン・スピリット」を持ち、挑戦し続ける人に成長してくれることを願っています。

